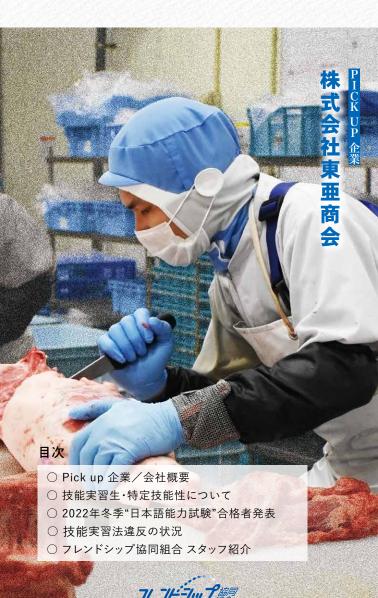
S h i p 第11号 2023.3 シップ



PICK UP 企業

株式会社東亜商会

牛豚食肉処理加工業

会社についてお聞かせください!

会社の事業案内



代表取締役 松本和人

当社は、JA静岡経済連の委託事業 として、小笠食肉センター内にて食肉 処理加工業を営んでいます。取り扱 うのは、静岡県内をメインとした牛 豚肉です。

私たちが扱うのは、皆さんがスーパーなどで見るパックに入ったお肉とは違い、頭や内臓などを取り除いた枝肉です。天井から吊ったお肉をテレビで見たことがあるかなと思いますが、この時点ではまだ骨が付いた状態です。

このお肉から脱骨して、お客様の 希望される規格に合わせてお肉を カットしていきます。お肉にも個性が

あり、同じブランド牛や豚であっても包丁の入れ方が少しずつ違います。 これは実際に触れてみないと分からないので、経験から培った感覚 で作業をしています。

現在、問題としていることはありますか?

大きな問題点はありませんが、 私たちの仕事や体制の問題という より、仕入れ元である生産者様の 状況によって、仕事に影響が出る ことがあります。

ちょうど一期生を受け入れた頃に 熱豚(旧称は豚コレラ)が流行して おり、多くの豚が殺処分されました。 そのため、通常より仕事量が減って しまい実習生に十分な仕事をさせて あげることができませんでした。

そして、ここ一年では、事業を辞めてしまう生産者様がいることです。 家畜の肥料が高騰していること、 事業の継承者がいないことが理由 です。

世の中の流れもあるのですが、厳 しい状況を打破できたらなと思い ます。





今後の展望を聞かせてください。

いろいろチャレンジしてみたいなと思うことはあります。 例えば、精肉の加工、小売販売などもできたらなと思った時期もありました。

けれど、この仕事を始めてから「後継者を育てたい」という思いが強く ありましたので、今の事業の基盤を整えていきたいなと考えています。 将来的には食肉センターも拡大されていくという話もあるので、そうなった 時には取り扱う頭数も増えますし、人材も確保しなくてはいけません。 そのためには、技術面の向上だけでなく、従業員の給料やキャリア プランなども調整していく必要があります。

厳しい仕事ではありますが、良い人材と仕事ができたら嬉しいですね。





技能実習生・特定技能生についてお聞きしました。

技能実習生・特定技能生の人数:9人 受け入れの国:ベトナム・インドネシア

実習生の受け入れ状況と仕事について 教えてください。

現在は、男性9人がいます。内訳としては7人の実習生と、2人の特定技能です。国籍はベトナムとインドネシアです。仕事上、20~25歳の男性を希望しているので、若い男性が頑張ってくれています。

国籍が違うことで、人間性の違いを感じています。ベトナム人はライバル 意識が強いので「自分は頑張ってる」というアピールが激しいです。そんな 時は、頑張って欲しいことを伝えて見直してもらい、技術的なことであれば 後日試験することもあります。カンボジア人は、純粋でおとなしいですね。 自己アピールみたいなことはありませんが、勤務態度が非常にいいです。

フレンドシップさんを通じて制度を利用するようになって5年になります。 求人を出しても応募がない状況でしたから、限られた期間であっても人材 を確保できるので助かっています。

衛生面については、どんな指導を行っていますか?

食品を扱う仕事なので、誠実に取り組んで欲しいと考えています。だから、衛生面については厳しく指導しています。工場内での手洗いや身だしなみのチェック、作業のやり方などはもちろんですが、仕事以外の生活面においても指導しています。

月に1回、部屋の様子を見に行きます。確認して部屋が散らかっていたり、掃除ができていない時は、速やかに帰ってもらい部屋の掃除をしてもらいます。仕事より掃除が優先です。

現場で仕事を教える際に 工夫していることはありますか?

私も現場に入るので、一緒に仕事をしながら直接教えられることは、 その場で指導しています。

お肉のカットは機械を使っていると思われがちですが、ほとんどの工程は手作業です。一人一人が包丁でカットしています。最初にもお話しましたが、お肉は全て違うので包丁の入れ方、カットの方法は触れた感触で変えていきます。この絶妙な感覚は機械ではできません。人の手だからできることです。

ただ技術を教えるだけでなく、こうした感覚的なことも丁寧に伝えて覚えてもらいます。

実習生と接する時に 大切にしていることはなんですか?

一人の人間として、相手のことを知りたいと思っています。私からも積極的に話しかけるようにしていますし、実習生の方も「社長と話したい」と思ってくれているようです。

先日も別の業種から特定技能として来てくれた子が「ここまで損をした」と言うのです。そんな風に思うことはとても悲しいので「努力したことは損しない」と伝えました。言葉の壁もありますが積極的に挨拶してくれたり、日本人の従業員にちょっかいをかけてきたりします。私は、祖国を離れて頑張っている実習生たちをサポートしてあげたいと思います。

日本人の従業員とも仲が良く、3月には社員旅行に出かける予定をしています。こうした楽しみを共有することもお互いを知るきっかけになるので、 大事にしています。













選考の基準としていることを教えてください。

以前は手先の器用さを確認するために、鶏肉やりんごのカットをしてもらいました。現在はそれをやめて、占術のアドバイスをもらいながら自分や職場に合う人を探しています。技術は来日してからでも遅くありませんが、来日してから人間関係で悩むことは避けたいなと思っています。

今後の実習生に期待していることを 聞かせてください。

今は具体的な期待はありませんが、ここでの経験をこれからの人生で思い出してもらえたら嬉しいなと思います。部屋の掃除やマナーなど、仕事以外のことで厳しいと思われるかもしれませんが、私は人間力を見ています。 技術がある、仕事ができるだけで評価はしません。

私は前職で和食の料理人をしていました。職人として様々な職場を経験しましたが、時代の流れと自分の思いが一致しなくなった時に、今の仕事と出会いここまできました。

自分の経験を通して技術の良さを評価するだけではなく、人間としての 在り方や社会貢献の大切さを痛感しています。だから、一緒に働きながら 良い時も辛い時も寄り添っていけたらと思います。

フレンドシップ協同組合

2022年冬季"日本語能力試験"合格者発表



N2

合格者氏名

麦 世王

会社名

(農)東濃ミートセンター

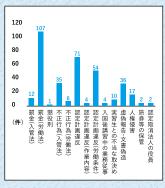
在留資格

技能実習1号

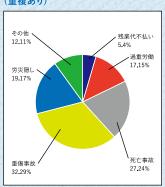


技能実習法違反の状況

実習実施者に対する行政処分事由 (重複あり)



実習実施者の書類送検事由 (重複あり)



監理団体に対する行政処分 件数の推移



監理団体に対する行政処分事



出典:法務省·厚生労働省: 報道発表資料 「技能実習法に基づく行政処分等を行いました|等の公表資料

スタッフ紹介 No.11

王涛 ワンタオ

- 出身国/中国
- 部署/業務2課 課長
- フレンドシップに入って どのくらい/9年3か月

□仕事内容

営業 実習生監理(中国、ベトナム、 ミャンマー、インドネシア)

□趣味

旅行



□フレンドシップで 学んだこと

色々ありすぎますが、一つだけ言わせていただければ、"善良さ"です。 フレンドシップに来るまでは、人材仲介業に良いイメージはありませんでした。 しかし、私が入社した時から、理事長をはじめ、当時の上司達も実習生 をいじめるような人はいませんでした。

フレンドシップ共同組合はそういう会社です。事務局長の弓長さんは、 どんなに怒っていても、最後は実習生の事を考えて、最善を尽します。 そんな彼を、私は尊敬しています。

□これから挑戦してみたいこと

○プライベート

- ・朝早起き 8時→6時
- ・筋トレとダイエット 80Kg→65Kg
- ・スカイダイビング

○仕事

新規開拓、人材が必要になるタイミングを予測しながら新たなクライアント 企業を開拓することに挑戦したいです。

□ その他自由にどうそ!

私には4歳の娘、のぞみちゃんがいます。 名前の由来は子供が生まれる前に理事長と 「一人目はのぞみ、二人目はひかり…」 と、雑談していました。



組合理念 世の為・人の為 人は石垣 人は城

フレンドシップ協同組合

フレンドシップ協同組合は「一人は万人の為に、万人は一人の為に」の精神の下、異業種間の総合扶助を目的に設立されました。企業であれ組合であれ、何のために組織を運営していくかという理念が必要です。その理念として「世の中の為」になる事業である事、「人の為」になる事業である事を掲げました。また、組織が大きくなるにつれ、どんなに素晴らしい理想があっても、どんなに立派な施設に入っていても実行するのは人との考えが増すばかりです。人の大切さを自覚し、武田信玄公の教えに習って「人は石垣人は城」をも併せて総合理念として掲げました。クレジットカードなどに永久不滅ポイントというのがありますが、この事業も永久不滅に継続させていきたい思いです。





〒460-0008

名古屋市中区栄三丁目11番31号グラスシティ栄5F

 $\mathsf{TEL}: 052\text{-}262\text{-}3500\,(9:00\sim18:00)$

FAX:052-262-3501

URL: https://friendship.or.ip

[Ship No.11]/2023年3月15日(年4回発行)、発行所/フレンドシップ協同組合、 発行人/溝渕 和典、制作・編集/株式会社レシャン出版、ライター/長谷川 祐子